



2016年2月22日
株式会社 SJI

預金口座管理に関するブロックチェーン技術の実証実験開始のお知らせ

当社は、去る1月12日、テックビューロ株式会社（本社：大阪府大阪市西区、代表取締役：朝山 貴生、以下「テックビューロ」）と共同で、ブロックチェーン技術を用いたフィンテック実証実験の検討をお知らせ致しましたが、この度、本実験の対象を金融機関の預金口座管理をモデルに開始したことをお知らせ致します。

記

当社は、本実証実験において、テックビューロが提供するプライベート・ブロックチェーンプラットフォーム「mijin」を用いて、金融機関の「預金口座管理」業務をモデルに、ブロックチェーン型データベースの可用性と安全性について、具体的なデータ登録やシステム動作等を確認して参ります。

ブロックチェーン技術とは、フィンテックの中でも最も注目されている技術の一つで、そのプラットフォームである「mijin」は、既存のデータベースや勘定系システムを置き換えて劇的にコストを削減すると同時に、改ざん不可能なセキュリティ環境が構築できる他、実質的なゼロダウンタイムを実現することが可能です。

当社はこれまで、都銀、地銀、証券会社等の多くの金融機関向けシステム開発を通じて、そのシステムインフラに精通しております。当社は具体的なデータ登録やシステム動作等を確認することをおして、「mijin」のプライベート・ブロックチェーン・プラットフォームが企業にとって、より運用しやすい製品へとなるための役割を担っております。今回の実証実験モデルとなる「預金口座管理」業務は、金融機関の勘定系システムの中でも、個人や法人の重要な資産情報を扱うものであり、その可用性と安全性を実証実験の立場から検証していくことは、当社の持つ市場優位性をいかに発揮しうる領域であると考えております。

当社は、テックビューロの「mijin」の利用を通して、プライベートブロックチェーンの優位性を検証し、銀行をはじめとするあらゆる金融機関業務におけるその適用可能性を模索し、新たなシステム構築手法を提案して参ります。

今後、実証実験の進展に合わせて順次その結果を公開していく予定です。

今後のSJIのフィンテック戦略にご期待下さい。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 SJI

TEL 03-5657-3000

■ ブロックチェーンについて

ビットコインによって発明された、P2P 方式によるデータ処理の基盤技術です。複数のコンピューターが分散型合意形成を行い、暗号署名しながらブロック単位で複数データを処理するのが特徴です。安価なコンピューターで稼働し、ゼロダウンタイムと、改ざん不可能なセキュリティを実現します。バックアップや冗長化も必要なく、劇的なコスト削減が可能であり、キャパシティを超えても落ちないため、金融機関にも注目されています。

■ フィンテックについて

フィンテック (FinTech) とは金融 (Financial) と技術 (Technology) を掛け合わせた造語で、金融と IT を融合させた金融システムの革新的活用を意味します。従来は、このフィンテックが担う分野は金融機関向けにサービスを提供する大手 IT ベンダーが関与するものでした。しかし、ここ数年は技術革新とともに比較的小規模のベンチャー・スタートアップ企業の参入が多くなり注目を集めています。